



佐々木 僚平 議員

一括質問方式

コロナ禍における 持続化給付金等の支援策は

市長 コロナ感染拡大、経済、生活困窮者のサポートに関して大変な状況にあるとの共通の認識

問 農家に対する持続化支援の申請申し込みは、どれくらいか。

答(市長) 令和2年1月から12月のいずれか1か月の事業収入が、令和元年度の平均月収の50%以下が基準。

県や市町村を経由せず、国に直接申し込みになっており、状況確認では「個人情報」と

の理由で教えていただけなかった。

問 窓口相談では、どのような相談があったのか。

答(市長) 商工労働ワンストップ相談窓口相談は55件。やはり「インターネットの使い方が難しくて」の相談。インターネットの普及で、申

問 国民健康保険制度、子どもの均等割等国保税の軽減については。

答(市長) 令和4年4月より、未就学児に対し均等割

の5割を、国が軽減することになり、3月定例会に提案する。その他の拡充について、加入する子ども達の世帯の負担軽減は、安心して暮らせる条件だが、前倒しで支援は考えていない。

問 原油価格高騰で、遠野の厳しい冬を、節約しているご家庭や市民に対し、高騰分の福祉灯油等、独自の補助計画は。

答(市長) 米価の下落、灯油価格の高騰で、厳しい経済状態の中での打撃は大きい。「あつたか事業」は、非課税の世帯のうち65歳以上の高齢者世帯、障がい者のいる世帯、1人親世帯に対し、一律5千円を給付。そのほか、コロナ禍における特養老人、障がい者施設、保育所、幼稚園等週一回ヘルパーを派遣し、消毒等で感染を予防している。



遠野の冬に欠かせない灯油

危機管理の認識を問う

市長 情報セキュリティはしっかりと対策と認識が必要というレベル

問 市民生活を脅かす危機は多様化・複雑化して来ている中、本市の基本的な対策や市長の認識は。

答(市長) 市総合防災センターは72時間様々な対応ができ、非常発電装置、免震構造である。地区センターも毛布・非常食等に対応できる。風の丘も防災道の駅に指定されている。ハザードマップも若干変わっている。

問 本市の情報漏洩の危機管理における、※ランサムウェア等の攻撃に対するサイバーセキュリティ対策は大丈夫なのか。

答(市長) 非常に現代社会では重要な事と認識している。現在、しっかりと対策と認識が必要というレベルである。

問 11月16日から19日までの3泊4日で東京出

張をしている。副市長も不在の段階でどのような危機管理上の体制や対策を講じての出張だったのか。

答(市長) 3日間というスケジュールは厳しいな、早く帰りたいと思っ

たが、私の行動が間違っていたとは全く考えていない。

※ランサムウェア
感染したパソコンをロックしたり、ファイルを暗号化したりすることによって使用不能にした後、元に戻すことと引き換えに「身代金」を要求する不正プログラムのこと。

問 米価の大幅下落、農業資材・飼料・肥料等の大幅値上げで農家は四重苦・五重苦にあるが、この現状の認識について。

答(市長) 米価は令和元年から見ると、60kg3200円から3600円も落ちている。本当に大変な状況だと思う。

問 本市の基幹産業としての、第一次産業の重要性の認識について。

答(市長) 最も重要なことだと思う。基幹産業というからには、本当に基幹産業の取り組みをしなければならぬということを確認したい。

問 多重苦に悩む農家への、遠野市独自の早急な支援策の必要性について。

答(市長) 本当にやらなければならぬ。農協・国からもサポートの形が出てきた。更に遠野市がどのようなサポートができるか検討していく。



これからの時代、ランサムウェア等によるサイバーセキュリティ攻撃に対する情報漏洩や、システムダウンに備える危機管理が極めて重要である。

米価安等多重苦の 農家に支援を

市長 どのようなサポートができるか検討する



コメは日本人の命

